

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	～伊勢志摩地域の歴史・文化資源を紡ぐ～国際観光・海洋文化都市鳥羽の創造にむけて(海の国再生事業)		
(2) 実施団体名	鳥羽元気再生事業推進協議会	(3) 対象地域	三重県鳥羽市
(4) 代表団体名	鳥羽商工会議所	(5) 推薦団体名	

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	海の玄関口としての鳥羽＝海の駅構想	
	実施主体	鳥羽元気再生事業推進協議会	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 海の玄関口を拠点とし、市民をはじめ、観光客が楽しく周遊出来るまちづくりの為、魅力ある海上ルートの開発・調査と海鮮市場</li> <li>・実施時期 (海鮮市場) 11月 (海上ルート) 11月～12月</li> <li>・実施場所 伊勢志摩地域の地方港湾及びその周辺海域</li> <li>・取組の目的 海の玄関口としての「海の駅」鳥羽のランドマーク化に向けた調査・実証実験・検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 1、海の駅構想の具体化企画(海鮮市場実証実験) 2、海上周遊ルート及びツアー開発</li> <li>・実施時期 (海鮮市場)11月21日～27日 (海上周遊ルート)11月27日、12月6、13日</li> <li>・実施場所 (海鮮市場)鳥羽駅前ドルフィン公園 (海上周遊ルート)佐田浜港～菅島～答志島</li> <li>・取組の結果 (海鮮市場) 期間内来場者数1975名、売上げ1,680,800円、アンケート1130枚を回収した。来客の96%から「再度訪れたい」との好評を得ることができた。 (海上周遊ルート) 開催3日間、4行程参加者総数88名。77名分のアンケートを回収した。参加者の満足度が「また参加したい」が93%と非常に高く、離島間航路、離島での体験型観光への関心の高さ、商品化への可能性が確認できた。</li> </ul>
<b>取組②</b>	鳥羽港エリアの光の感謝祭		
実施主体	鳥羽元気再生事業推進協議会		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 夜歩き出来るまちづくり(鳥羽の風物詩への挑戦)夜のあかりの街への誘導の開発・調査</li> <li>・実施時期 11月～12月</li> <li>・実施場所 鳥羽港～カモメの散歩道～真珠島～鳥羽水族館～中心商店街</li> <li>・取組の目的 夜歩き出来るまちづくりを目指し、集客力を向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 光の感謝祭(様々な行灯による演出)</li> <li>・実施時期 11月23日、12月23、24日</li> <li>・実施場所 (11月)カモメの散歩道、小浜地区、商店街、鳥羽水族館、ミキモト真珠島、鳥羽城址 (12月)カモメの散歩道、ドルフィン公園</li> <li>・取組の結果 11月は、カモメの散歩道を中心に小浜地区、商店街、鳥羽水族館、ミキモト真珠島においてライトアップを実施。 12月は鳥羽海灯り実行委員会の協力により、キャンドルによる演出を加え、内容の充実を図った。 開催期間中に行ったアンケートでは、継続を望む声が96%を超えており、十分な結果を得ることが出来た。また、雨天により開催できなかった日もあり、天候等への対策が課題となった。</li> </ul>	

取組③	鳥羽の昔からの海洋文化と海洋都市としてのブランド、アイデンティティの発信(取組①、②の価値の最大化)					
実施主体	鳥羽元気再生事業推進協議会					
実施内容、実施結果	<p>当初提案により予定していた計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 フォーラム開催による歴史・文化広報 語り部育成 大河ドラマ推進</li> <li>・実施時期 (フォーラム) 10月 (語り部育成) 11月～1月 (大河ドラマ推進) 11月～1月</li> <li>・実施場所 鳥羽市内</li> <li>・取組の目的 歴史的な海の文化を再認識し、NHK大河ドラマ「九鬼水軍」テレビ化に向け歴史文化の発信開始</li> </ul>	<p>実際の取組内容及びその結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 1、九鬼嘉隆フォーラムの開催 2、語り部育成ワークショップの実施 3、大河ドラマ推進活動</li> <li>・実施時期 (フォーラム) 11月22日 (語り部育成) 11月18日、12月2、16日 (大河ドラマ推進) 1月12、13日</li> <li>・実施場所 (フォーラム) 答志島 老人憩いの家 (語り部育成) 商工会議所会議室 (大河ドラマ推進) 大阪城博物館、三田市</li> <li>・取組の結果 参加者130名。作家北氏をはじめ、九木神社の宮崎宮司らの講演により市内外からの参加の九鬼嘉隆に関する理解を深めることができた。大河ドラマ化に向け気運を高めることができ、サミット開催への足がかりを得た。運営にあたっては、答志老人会、婦人会、中学校の協力により地域一体となって開催できた。フォーラムと連動して語り部育成を行いワークショップを3回開催し、のべ93名の参加があり、歴史文化の情報発信にあたる人材育成を行うことができた。また、大河ドラマ化へ向け、三田市の関係者・団体との交流を図った。</li> </ul>				
(7)実施体制	<p>平成20年度の取組実施における体制・役割分担</p> <p>下記の9団体により鳥羽元気再生事業推進協議会を立ち上げ、役割分担と責任、管理を明確にして推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥羽磯部漁業協同組合(担当:取組み①) 海鮮市場でのメニュー開発</li> <li>・鳥羽商工会議所(担当:取組み①②③、事務局) 協議会の事務局として各取組みの管理</li> <li>・鳥羽市(担当:取組み①②③事務局) 新たな海上ルート開発、協議会の事務局として各取組みの管理</li> <li>・ミキモト真珠島(担当:取組み②)</li> <li>・特定非営利活動法人 伊勢志摩さいこう会(主担当:取組み①②③事務局) 取組み②での部長、協議会の事務局として各取組みの管理</li> <li>・鳥羽市観光協会(担当:取組み①②③)</li> <li>・鳥羽商店会協同組合(担当:取組み①②)</li> <li>・鳥羽旅館事業協同組合(担当:取組み②)</li> <li>・鳥羽水族館(担当:取組み②)</li> </ul>	<p>取組の実施を踏まえた反省点</p> <p>取組①-1 店舗運営を鳥羽磯部漁協が担当し、メニュー開発においては、鳥羽磯部漁協と伊勢志摩さいこう会と協力して行った。</p> <p>取組①-2 海上周遊ルートの開発に当たっては、鳥羽市が主体となり、離島間航路の調整を行い、漁業体験や散策のメニューについては、島の旅社や、地元事業者、海上保安庁等の協力を得、参加者の満足度の非常に高い新たな海上ルートを設定することができた。</p> <p>取組② さいこう会を中心とし商店会、ミキモト真珠島、水族館と連携しライトアップを行った。当初予定していた三つ島のライトアップは、技術的に不可能となり断念せざるを得なかったが、小浜地区旅館街活性化組合に協力をいただき小浜地区でのライトアップを実施することができた。</p> <p>取組③ 商工会議所を主体として、事業を行ったが答志老人会、婦人会、答志中学校、鳥羽ガイドボランティアの会など地域住民の想定を超える協力を得ることができた。また三田市での情報収集についても地元団体等からの協力を得ることができた。</p>				
(8)取組により得られた成果	<p>○成果1→ 県外・海外からの来訪者増、三重県内からの来訪者増、有人4島への入込み客数増、夜歩き回遊者数増、エリア内売上増</p> <table border="1" data-bbox="248 1077 2013 1268"> <thead> <tr> <th data-bbox="248 1077 831 1102">H19</th> <th data-bbox="837 1077 2013 1102">H20(当初予定していた目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="248 1107 831 1268"> <p>県内外・国外観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入込み客数 510万人 ・宿泊客数 210万人</li> <li>・離島交流人口 100万人</li> <li>・外国人観光客 3.4万人 ・外国人宿泊客数 1.9万人</li> <li>・対象エリア商店街売上 30,589百万円</li> <li>・夜歩き回遊者数 7万人(推定)</li> </ul> </td> <td data-bbox="837 1107 2013 1268"> <p>県内外・国外観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入込み客数 520万人 ・宿泊客数 215万人</li> <li>・離島交流人口 105万人</li> <li>・外国人観光客 4万人 ・外国人宿泊客数 2.2万人</li> <li>・対象エリア商店街売上 30,634百万円</li> <li>・夜歩き回遊者数 10万人</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>取組①-1 訪者の増加について、アンケート結果(また来たい96%)から考えると、県内外からの来訪増につながる回答が多い。</p> <p>取組①-2 離島交流人口についても、交流人口増加につながる離島の魅力発信が行なえた。(取組み①アンケート:また参加したい93%)</p> <p>取組② 夜歩き回遊者増加については、光の感謝祭開催中は計1500人を超える人が会場を訪れており、アンケートでの「また来たい」の回答が96%と好評なことから継続することで回遊者の増加が見込める結果が得られた。</p> <p>これらの取組により、11月における入り込み客数が159,768名(前年143,679名)となった。</p>		H19	H20(当初予定していた目標)	<p>県内外・国外観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入込み客数 510万人 ・宿泊客数 210万人</li> <li>・離島交流人口 100万人</li> <li>・外国人観光客 3.4万人 ・外国人宿泊客数 1.9万人</li> <li>・対象エリア商店街売上 30,589百万円</li> <li>・夜歩き回遊者数 7万人(推定)</li> </ul>	<p>県内外・国外観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入込み客数 520万人 ・宿泊客数 215万人</li> <li>・離島交流人口 105万人</li> <li>・外国人観光客 4万人 ・外国人宿泊客数 2.2万人</li> <li>・対象エリア商店街売上 30,634百万円</li> <li>・夜歩き回遊者数 10万人</li> </ul>
H19	H20(当初予定していた目標)					
<p>県内外・国外観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入込み客数 510万人 ・宿泊客数 210万人</li> <li>・離島交流人口 100万人</li> <li>・外国人観光客 3.4万人 ・外国人宿泊客数 1.9万人</li> <li>・対象エリア商店街売上 30,589百万円</li> <li>・夜歩き回遊者数 7万人(推定)</li> </ul>	<p>県内外・国外観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入込み客数 520万人 ・宿泊客数 215万人</li> <li>・離島交流人口 105万人</li> <li>・外国人観光客 4万人 ・外国人宿泊客数 2.2万人</li> <li>・対象エリア商店街売上 30,634百万円</li> <li>・夜歩き回遊者数 10万人</li> </ul>					

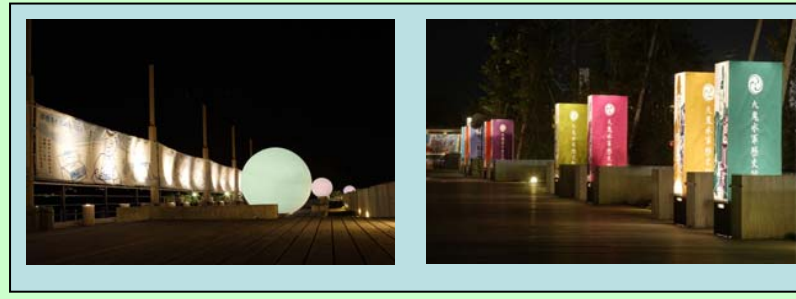
	○成果2→ 海洋観光文化都市としてのブランド、アイデンティティの発信
	H20(実際に得られた成果)
	取組③-1 地元住民をはじめ、市内外から130名がフォーラムに参加し、九鬼嘉隆についての理解を深め、大河ドラマ推進に対する意識が高まった。アンケートでは、78名(93%)から今後の活動について、「参加したい」「応援したい」との回答を得た。また、開催に関する記事が地元各誌に掲載され、情報発信としての目的も達成できた。
	取組③-2 全3回の開催となったワークショップにはのべ93名の参加があり、人材の育成及び発掘に関して、成果を上げた。また今後の活動団体設立に向け、大きな一歩となった。
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み①-1 海鮮市場の事業化に向けての課題として、店舗候補地の選定やメニューの充実、運営形態の改良、価格設定の見直しが必要となる。</li> <li>・取組み①-2 海上周遊ルート及びツアー開発については、さらなる魅力向上のため、引き続き関係者・関係団体と連携して、坂手島、神島を含めた海上周遊ルートの開発と通年・時季でのメニューを検討する必要がある。</li> <li>・取組み② 光の感謝祭については、事業化へ向け長期間設置時の夜歩き回遊者の動向を調査する必要があり、開催場所、雨天時対策や、演出方法の再検討が必要となる。</li> <li>・取組み③-1 フォーラム開催では、地域一体となった取り組みができた。サミット開催に向けて、学校等と連携し、資料、文献等の整理を行っていくことが必要である。また、サミット開催にあたり、李瞬臣(韓国)や村上水軍等の関係者・団体との連携が必要となる。</li> <li>・取組み③-2 大河ドラマに向けては、九鬼に纏わる各地の関係者・団体との連携を強化し、地域一体となって盛り上げていく必要がある。</li> </ul>
	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開
	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
	1. フィッシャーマンズワーフ(海鮮市場)の事業化の推進
	海鮮市場の計画の推進 ・実施主体: 鳥羽磯部漁業協同組合 ・実施内容: メニューの充実、採算性の確保、流通ルートの開発や、店舗候補地の選定等のハード整備も含め検討する。今回の実証実験により、屋外店舗に関する方向性を確認できた為、海上カフェ、オープンカフェについては海鮮市場の中に組み込んでいく。また、同時に物販に関する事業展開に向け実証実験を行う。
	2. 海上カフェの開設・検討(H21年度)
	3. オープンカフェの設置・検討(H22~23年度)
	【活用を希望する制度: 物販部分について、地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 800万円)】
	4. 海のルートの再構築及び新ルートの開発・設定(H21年度)
	新ルート開発・商品化 今年度の実証実験により、市内のルート開発につき目処が立った為、翌年度は本格的な地方港湾の機能充実を目指し、以下の実験を行う。 ・実施主体: 鳥羽市 ・実施内容: 宇治山田港~鳥羽港~三河港の海上交通の市場調査 坂手島、神島を含めた海上周遊ルート・ツアーの開発と通年・時季でのメニューの検討 (夏~冬にかけて月1,2回程度)
	5. 新たな海上ルートの商品化(鳥羽~伊勢)(鳥羽~的志湾)(三河~伊勢志摩)に向けた取組(ツアーの商品化)(H22~23年度)
	【活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 300万円)】
(10)平成21年度以降の活動の見込み	カモメの散歩道の延長に係る調査実験 今回の光の感謝祭の実証実験の成果を基に、現在のカモメの散歩道を延長するにあたり、空間快適性の確保を目的に調査実験を行う。 ・実施主体: 今後協議会内にて検討 ・実施内容: 空間快適性を確保できるハード整備についての調査実験 【活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 400万円)】
	6. 水軍(海の民)サミット企画(H21年度)
	①水軍サミットの企画 ・実施主体: 鳥羽商工会議所 ・実施内容: 九鬼水軍との関係者等、関わりのあった、村上水軍、李瞬臣(韓国)関係者等を招いてのサミット開催。 ②郷土史会の立上げ ・実施主体: 鳥羽ガイドボランティアの会 ・実施内容: 九鬼水軍の歴史再発掘を行う。綾部、三田、尾鷲(九木神社)、波切(大慈寺)との連携を図る。 ③大河ドラマ推進活動を行う団体の立上げ ・実施主体: 今後協議会にて検討 ・実施内容: 綾部、三田との連携 【活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 200万円)】
	メディアコンテンツの設置に関する実証実験 ・実施主体: 今後協議会にて検討 ・実施内容: 今回の開発に係る調査により、設置方法、場所、利用方法についての検討を行う。 【活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 300万円)】

## ◆主な実施取組の内容◆

- ・実施内容: 海の駅構想の具体化企画(海鮮市場実証実験)  
海上周遊ルート及びツアー開発
- ・実施時期: (海鮮市場)11月21日～27日(海上周遊ルート)11月27日、12月6、13日
- ・実施場所: (海鮮市場)鳥羽駅前ドルフィン公園  
:(海上周遊ルート)鳥羽港～菅島～答志島
- ・取組の結果: (海鮮市場)期間内来場者数1975名、売上げ1,680,800円、アンケート枚を回収した。来客の96%から「再度訪れたい」との好評を得ることができた。(海上周遊ルート)開催3日間、4行程参加者総数88名アンケートを回収した。参加者の満足度が非常に高く、離島間航路、離島での体験型観光への関心の高さ、商品化への可能性が確認できた。



- ・実施内容: 光の感謝祭(様々な行灯による演出)
- ・実施時期: 11月23日、12月23、24日
- ・実施場所: カモメの散歩道
- ・取組の結果: 地元商店会や、ミキモト真珠島、鳥羽水族館、海灯実行委員会、小浜旅館活性化組合に協力いただき、内容の充実が図れた。開催期間中は1500人を超えるお客様にご来場いただき、アンケート(感想)を回収できた。11月24日は開催予定だったが、雨天のため中止となり天候等への対策が課題となった。



- ・実施内容: 九鬼嘉隆フォーラムの開催
- ・実施時期: 11月22日
- ・実施場所: 答志島 老人憩いの家
- ・取組の結果: 参加者130名。作家北氏をはじめ、九鬼神社の宮崎宮司らの講演により市内外からの参加の九鬼嘉隆に関する理解を深め、大河ドラマ化に向け気運を高めることができ、サミット開催への足がかりを得た。運営にあたっては、答志老人会、婦人会、中学校に協力いただきスムーズに開催できた。フォーラムと連動して語り部育成を行いワークショップを3回開催し、のべ93名の参加があり、歴史文化の情報発信にあたる人材育成を行うことができた。



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

- ・佐田浜港の再開発に向け、様々な可能性を発見できた。今回の実験結果を基に、空間快適性の確保を目的にカモメの散歩道の延長に向けハード整備についての計画を策定する。また、環伊勢湾における地方港湾と連携ルートの商品化を目指し、海の玄関口である鳥羽港の価値の向上を図る。
- ・海鮮市場については、今後メニューの充実及び地元海産物・商品の選定、流通ルートの開発等を検討し、ハード整備を含めた検討を行っていく。
- ・大河ドラマ推進に向け、実行委員会等の設立し、地元住民が一体となって気運を盛り上げていく。